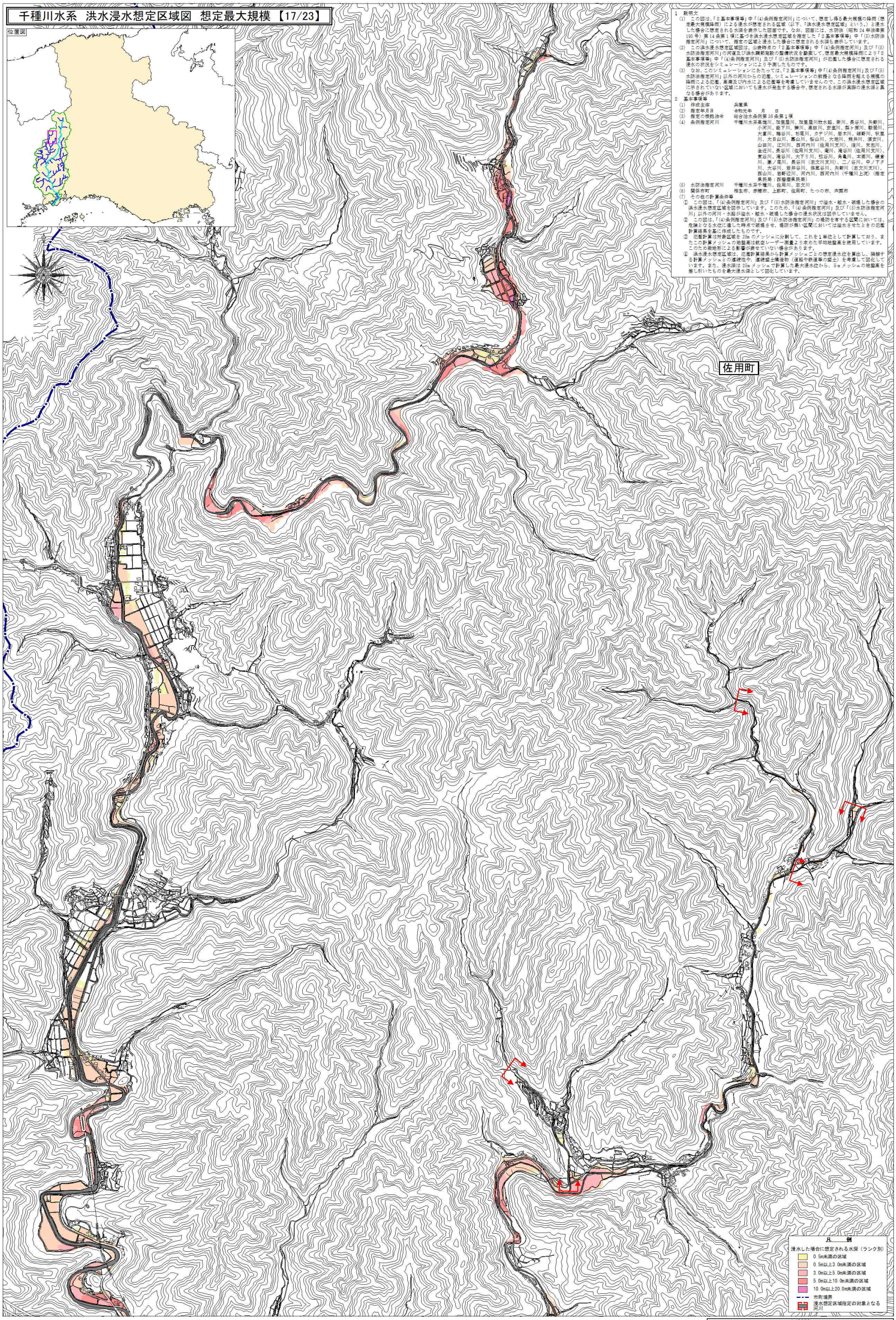
千種川水系　洪水浸水想定区域図　想定最大規模【17/23】



1　説明文

(1)　この図は、「２基本事項等」中「(4)条例指定河川」について、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和24年法律第193号）第14条第１項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「２基本事項等」中「(5)水防法指定河川」について、指定の区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2)　この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「２基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により「２基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションにあたっては、「２基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川からの氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

(1)　作成主体　　兵庫県

(2)　指定年月日　　令和元年　月　日

(3)　指定の根拠法令　　総合治水条例第38条第１項

(4)　条例指定河川　　千種川水系高雄川、加里屋川、加里屋川放水路、新川、長谷川、矢野川、小河川、能下川、柳川、高田川、安室川、梨ヶ原川、駅屋川、大喜川、梅谷川、杉尾川、カチジ川、岩木川、細野川、秋里川、大日山川、高山川、桜山川、大地川、熊井川、須安川、山田川、江川川、西河内川（佐用川支川）、淀川、末包川、金近川、長谷川（佐用川支川）、慶川、滝谷川（佐用川支川）、東谷川、滝谷川、大下り川、弦谷川、角亀川、本郷川、練倉川、猿ノ尾川、長谷川（志文川支川）、二ノ谷川、中ノ下ヶ川、大谷川、岩井谷川、保屋谷川、矢野川（志文川支川）、西山川、岩野辺川、河内川、西河内川（千種川上流）（指定県民局：西播磨県民局）

(5)　水防法指定河川　　千種川水系千種川、佐用川、志文川

(6)　関係市町　　相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、宍粟市

(7)　その他の計算条件等

①　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

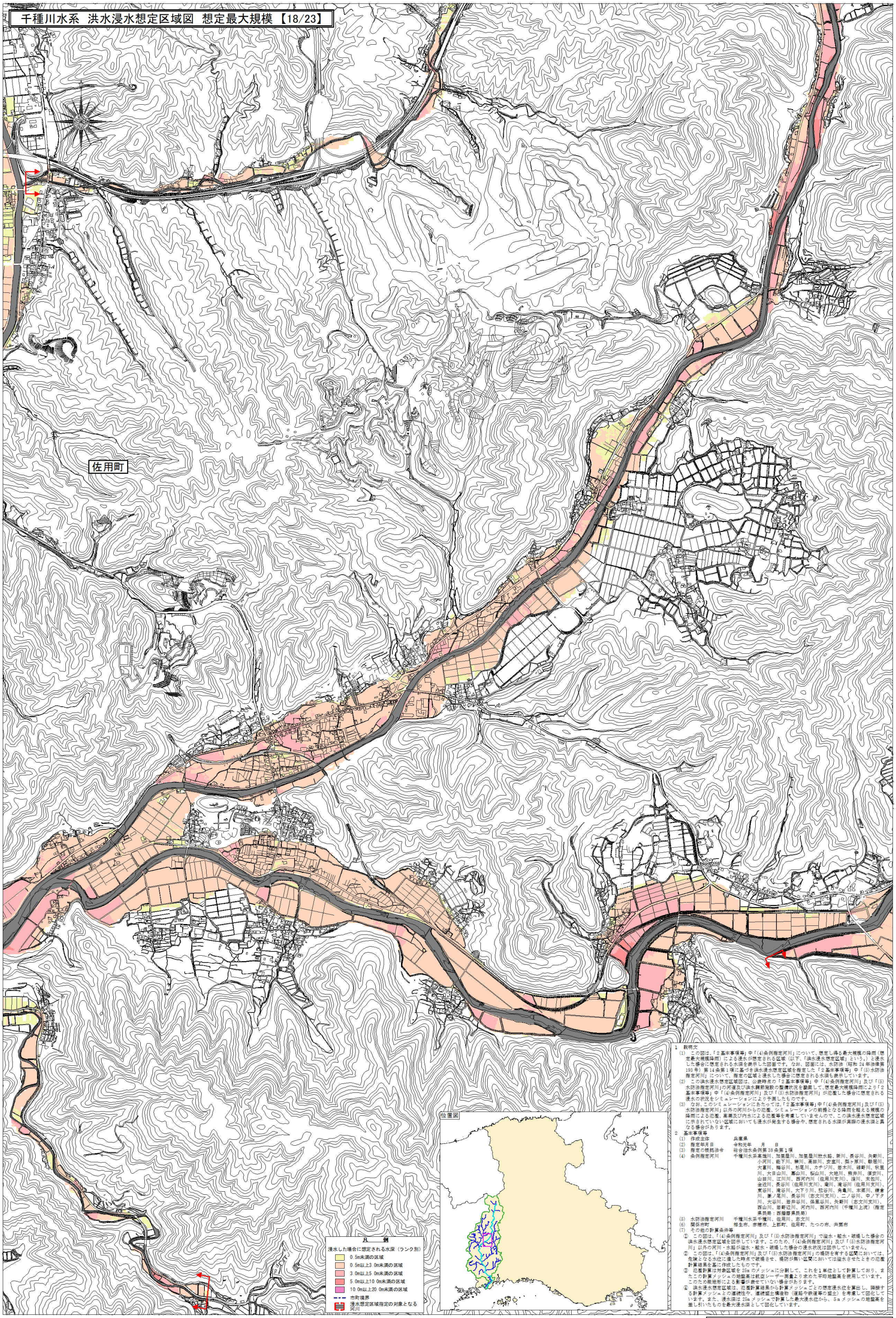
②　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③　氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを１単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

④　洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水位から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

千種川水系　洪水浸水想定区域図
想定最大規模【17/23】

千種川水系　洪水浸水想定区域図　想定最大規模【18/23】



1　説明文

(1)　この図は、「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」について、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 1 項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2 基本事項等」中「(5)水防法指定河川」について、指定の区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2)　この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションにあたっては、「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川からの氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

(1)　作成主体　　兵庫県

(2)　指定年月日　　令和元年　　月　　日

(3)　指定の根拠法令　　総合治水条例第 38 条第 1 項

(4)　条例指定河川　　千種川水系高雄川、加里屋川、加里屋川放水路、新川、長谷川、矢野川、小河川、能下川、榊川、高田川、安室川、梨ヶ原川、藤居川、大富川、梅谷川、杉尾川、カチジ川、岩木川、福野川、秋里川、大日山川、高山川、松山川、大地川、熊井川、須安川、山田川、江川川、西河内川（佐用川支川）、海川、末包川、金近川、長谷川（佐用川支川）、慶川、滝谷川（佐用川支川）、東谷川、滝谷川、大下り川、荻谷川、角亀川、米郷川、鎌倉川、巌ノ尾川、長谷川（志文川支川）、二ノ谷川、中ノ下ノ川、大谷川、岩井谷川、保底谷川、矢野川（志文川支川）、西山川、岩野辺川、河内川、西河内川（千種川上流）（指定県民局：西播磨県民局）

(5)　水防法指定河川　　千種川水系千種川、佐用川、志文川

(6)　関係市町　　相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、宍粟市

(7)　その他の計算条件等

①　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

②　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③　氾濫計算は対象区域を 25m のメッシュに分割して、これを 1 単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

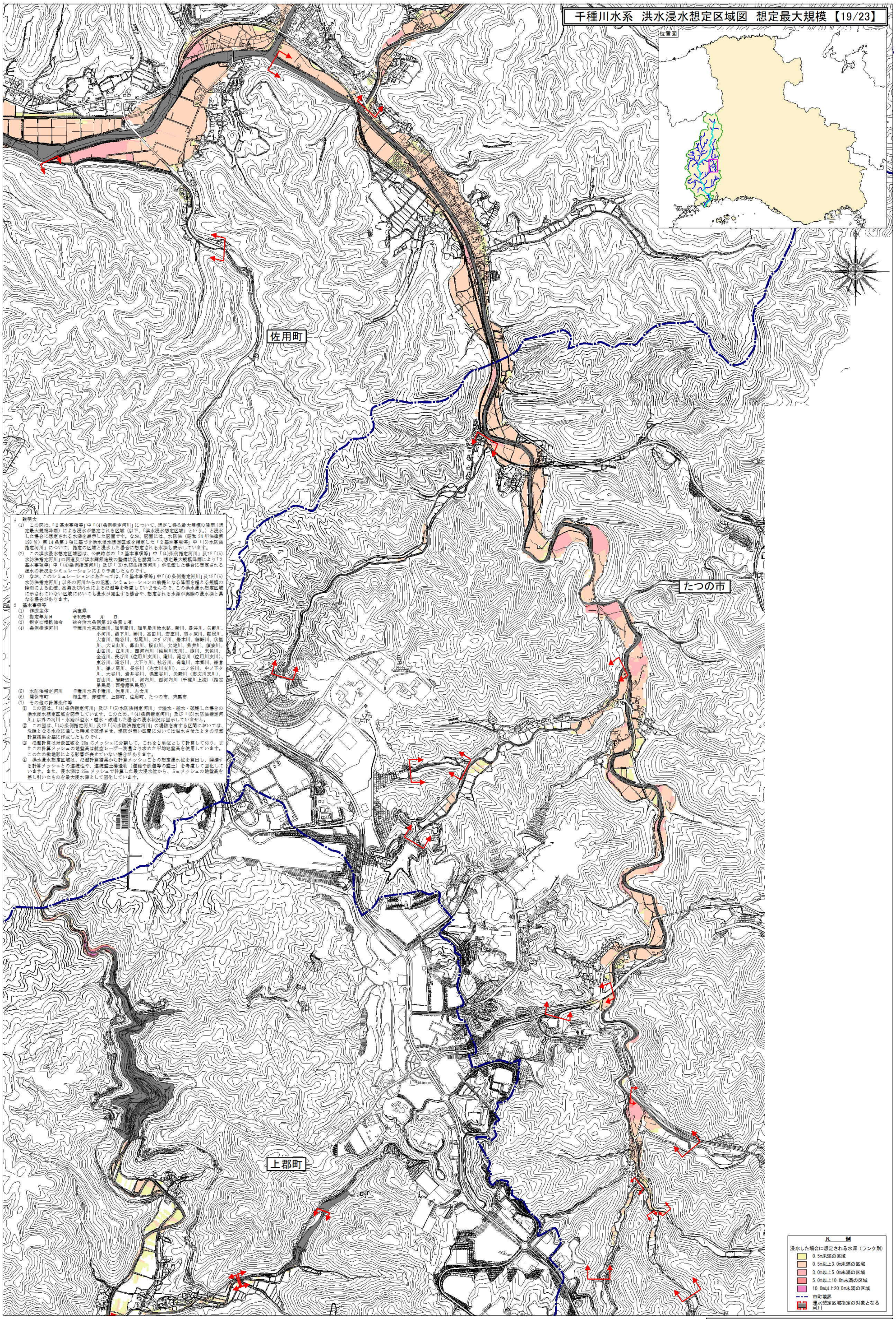
④　洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は 25m メッシュで計算した最大浸水位から、5m メッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

1:10000

0　100　200　400　600　800　1000m

千種川水系　洪水浸水想定区域図
想定最大規模【18/23】

千種川水系　洪水浸水想定区域図　想定最大規模【19/23】



1　説明文

(1)　この図は、「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」について、想定し得る最大規模の降雨（想定最大規模降雨）による浸水が想定される区域（以下、「洪水浸水想定区域」という。）と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。なお、図面には、水防法（昭和 24 年法律第 193 号）第 14 条第 1 項に基づき洪水浸水想定区域を指定した「2 基本事項等」中「(5)水防法指定河川」について、指定の区域と浸水した場合に想定される水深も表示しています。

(2)　この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)　なお、このシミュレーションにあたっては、「2 基本事項等」中「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川からの氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

(1)　作成主体　　兵庫県

(2)　指定年月日　　令和元年　　月　　日

(3)　指定の根拠法令　　総合治水条例第 38 条第 1 項

(4)　条例指定河川　　千種川水系高雄川、加里屋川、加里屋川放水路、新川、長谷川、矢野川、小河川、能下川、柳川、高田川、安室川、奥ヶ原川、駅屋川、大畑川、梅谷川、杉尾川、ケチジ川、岩木川、細野川、秋里川、大日山川、幕山川、桜山川、大坂川、熊井川、須賀川、山田川、江川川、西河内川（佐用川支川）、淺川、宋包川、金近川、長谷川（佐用川支川）、亀川、滝谷川（佐用川支川）、東谷川、滝谷川、大下り川、弦谷川、角亀川、本郷川、鎌倉川、瀬ノ尾川、長谷川（志文川支川）、二ノ谷川、中ノ下タ川、大谷川、岩井谷川、保底谷川、矢野川（志文川支川）、百山川、岩野辺川、河内川、西河内川（千種川上流）（指定県民局：西播磨県民局）

(5)　水防法指定河川　　千種川水系千種川、佐用川、志文川

(6)　関係市町　　相生市、赤穂市、上郡町、佐用町、たつの市、宍粟市

(7)　その他の計算条件等

①　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」で溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」以外の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。

②　この図は、「(4)条例指定河川」及び「(5)水防法指定河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③　氾濫計算は対象区域を 25m のメッシュに分割して、これを 1 単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。

④　洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、道路盛土構造物（道路や鉄道等の盛土）を考慮して図化しています。また、浸水深は 25m メッシュで計算した最大浸水位から、5m メッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

千種川水系　洪水浸水想定区域図
想定最大規模【19/23】